



NT防藻・防カビ剤

ニットク・アメニティシステム会員専用製品

シルビアセラティーンN専用の防藻・防かび剤が新登場。
外装材の藻やかびを防ぎ、美観を維持します。

建物外壁に発生する藻やかびは、防藻・防かび性の機能を付与した塗料を使用しても立地環境条件や部位によっては塗り替え数年後で発生することがあります。

この度、当社の高耐候性外壁塗料である「シルビアセラティーンN」に現場で添加する「NT防藻・防カビ剤」を発売しました。藻・かびの生えやすい環境にも長期持続性が期待できます。

長期ばく露された仮定状態（促進劣化試験を実施後）にて防藻・防かび試験を行い、効果が確認されています。

適用塗料

シルビアセラティーンN

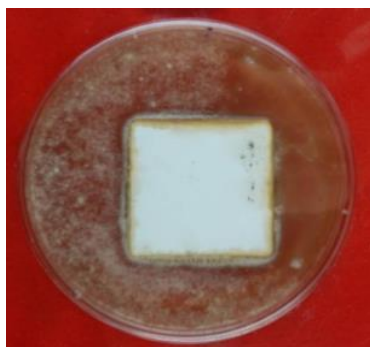
荷姿

1kg（ポリ容器）

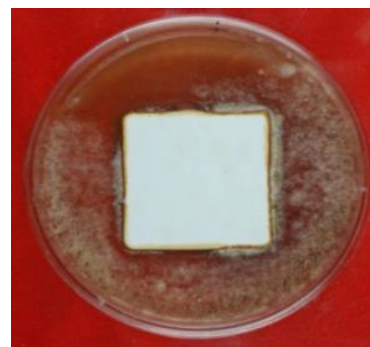
防かび試験

塗膜を長時間促進劣化させ、その後、防かび試験（JIS Z 2911準拠）にて効果を確認

未添加塗膜



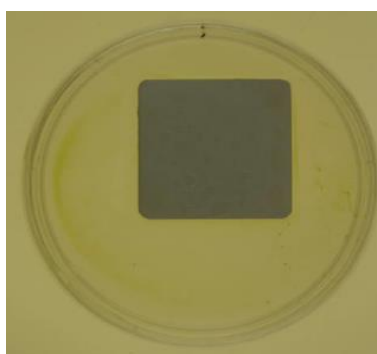
添加塗膜



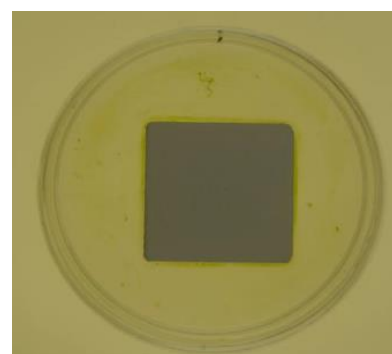
防藻試験

塗膜を長時間促進劣化させ、その後、防藻試験にて効果を確認

未添加塗膜



添加塗膜



工 程	材 料 の 調 合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23℃)
下地調整	・表面のゴミ、ホコリ、コケや既存塗膜の浮き、ハガレなどは、15MPa程度の高圧水洗浄やワイヤーブラシなどを用いて完全に除去してください。 ・水洗い後は十分に下地を乾燥させてください。 ・下地表面のチョーキング、ゴミ、かび類、藻類、レイタンスなどは除去し、欠損、ひび割れ、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは適切な下地処理を行ってください。 ・下地の状態により仕上り感が変わります。下地の状態をなるべく均一にしてください。また、既存塗膜の剥離部は、なるべく既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。				
下塗り	シルビアセラティー水性プライマー …………… 15kg	刷 毛 ローラー スプレー	—	0.10～0.15	1時間以上 72時間以内
中塗り	シルビアセラティー中塗 …………… 16kg 水 …………… 0～1kg(スプレー塗装:0～2kg)	刷 毛 ローラー スプレー	—	0.12～0.15	2時間以上 72時間以内
上塗り	シルビアセラティーN上塗 A液…………… 14kg B液…………… 1kg NT防藻・防かび剤 …………… 0.28kg 水 …………… 0～1kg(スプレー塗装:0～2kg)	刷 毛 ローラー スプレー	3時間以内	0.12～0.15	24時間以内は塗膜 表面に若干の粘性 があります。

※防藻・防かび剤はA液に添加を行い、攪拌して均一な状態にしてください。その後、B液を加えて十分に攪拌してご使用ください。
※防藻・防かび剤はB液に直接添加しないでください。

施工上の注意事項

- 本製品は藻やかびが発生しないことを保証するものではありません。塗装面の近くに植栽などが有る場合は、その影響を受けて効果が小さくなります。
- 著しくかびや藻の発生しやすい環境下では防かび、防藻効果が十分に発揮されない場合があります。
- 既存塗膜に発生した藻・かびは、通常の洗浄だけでは再発する場合があります。下地の状況に応じて、専用薬剤などを用いて殺菌洗浄を行い、十分な水で薬剤を洗い流し、よく乾燥させ、塗料を施工してください。
- 「NT防藻・防かび剤」を過剰に入れても効果は変わらず、塗膜の変色やつや引け、耐候性の低下につながります。
- 本製品を添加した製品の標準塗装仕様は、「シルビアセラティーN シルビアセラティーN遮熱COLOR SAMPLE」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 本製品は標準塗装仕様に従って施工してください。標準塗装仕様は、あくまで「標準」的な仕様であり、下地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより使用量や可使時間などに多少幅を生じることがあります。
- 施工当日から施工後翌日までに降雨、降雪、結露が予想される場合や気温5℃以下、湿度80%以上での施工は避けてください。塗膜が未乾燥状態で降雨や夜露などにあたるとう具合の原因につながります。特に冬季は、乾燥に時間がかりますので乾燥までの時間を考慮して作業を終了してください。気温が5℃以上でも、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- 結露の発生する恐れのある場所や換気が不十分な場所での施工は避けてください。
- 塗料は必ず塗装仕様の配合比で調合し、十分に攪拌してから施工してください。また、他の塗料との混合やアルコールや水の混入は絶対に行わないでください。
- 塗料を使用する前や小分けする場合には、十分に攪拌して均一な状態にしてから計量し、ご使用ください。
- 塗料の希釈率は標準塗装仕様の範囲内で試験施工などにより 決定し、同一条件で施工してください。希釈率は色や施工条件 により、変化しますのでご了承ください。
- 塗装仕様の使用量が塗られていない場合、本来の塗膜性能が発現しないことがありますので規定量を守って施工してください。早期の耐候性低下や変色、剥離、耐候性などの塗膜物性が低下につながります。
- 各工程において、施工間隔(塗り重ね時間)を守ってください。施工間隔は、気温により変わります。
- ローラーや刷毛、スプレーなど施工方法が混在する場合、色相や仕上りに差があることがあります。特に補修塗りの際は注意し、仕上りを確認した上で希釈量等を決め最小範囲で行ってください(目立ちにくくなるように施工してください)。
- 本製品は汚れが付きにくいものですが、建物の構造や部位、仕上げ、環境条件などによっては本来の性能が発揮されない場合があります。さびやシーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。
- シーリング面への施工は塗膜の汚染や剥離、収縮割れが発生する場合がありますので極力行わないでください。止むを得ず使用する場合は、最寄りの営業所までお問い合わせください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、プラスチック、ゴムパッキンなどへの直接施工は避けてください。

※製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

■取り扱い上の注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合ABC粉末消火器など適切な手段を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 安全衛生上の観点から、取り扱い中は皮膚に触れないようにし、有機溶剤の蒸気を吸わないように必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋、および保護メガネ、前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器(取っ手を含む)はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください。偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で少なくとも5分以上洗い、すみやかに医師の診察を受けてください。
- 誤って口に入った場合は、口を水でよくすすぎ、すみやかに医師の手当てを受けてください。飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流したのち中性石鹸と水で充分に洗ってください。痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。作業着などに付着した場合は、すみやかに着替えを行ってください。
- 皮膚障害、呼吸障害がみられる場合は、医師の診断を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 本製品の保管は必ずフタをし、雨露や直射日光の当たらない換気の良い冷暗所にて保管し、取り扱いの際は火気に充分ご注意ください。凍結を避けてください。現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない、風通しの良い涼しい場所で保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 本製品は、揮発性の化学物質(有機溶剤など)を含有し、臭気が発生します。臭気が周辺にある物に付着する場合があります。付着が予想されるものは、施工箇所からできるだけ遠ざけ、屋内に揮発成分が流入しないように養生を行ってください。また、化学物質過敏症やアレルギー体質の方がいる場合には本製品との接触や施工を避けてください。
- 本製品の取り扱い並びに輸送及び保管については、労働安全衛生法や消防法、道路運送車両法、船舶安全法、港則法などの各種適用法令を遵守してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■お問い合わせ先